



長年の功績をたたえて

岐阜地域公衆衛生協議会長表彰

7月9日、平成30年度岐阜地域公衆衛生協議会長表彰を、小寺 三喜さんが受賞されました。小寺さんは、医師として住民の健康の維持増進に尽力されるなど、公衆衛生の向上に多大な貢献をされています。

正副議長が先進地を視察しました



塩尻市えんぱーくを見学する羽島郡の議員

羽島郡町村議会議長会

7月19・20日、羽島郡町村議会議長会事業の一環として、笠松町と岐南町の正副議長による視察研修を実施しました。この視察研修は、羽島郡の議会活動の活性化を図るため、毎年実施しています。

今回は、長野県塩尻市で図書館を中心とした複合施設である市民交流センターえんぱーくを訪れ、市街地活性化の取り組みを視察しました。市民の交流や情報交換の場として、ガラス張りの会議室や自由な展示コーナーを備えた開放感あふれる施設が印象的でした。

併設された子育て支援センターでは、充実した相談体制や講座・研修会などを通して、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援が実践されており、各年齢に合わせた遊具を備えた遊び場での親子の賑わいに、子育てを地域で支える環境を見ることができました。

他市町村の現場における率直な意見交換は今後の議会活動の参考にもなり、貴重な視察研修となりました。

心身障がい者小規模授産所にスチームオーブンレンジを寄贈

支援の輪が広がることを願って

7月20日、岐阜東南ロータリークラブの皆さんが笠松町心身障がい者小規模授産所にスチームオーブンレンジ1台を寄贈されました。

授産所での作業風景を見学した岐阜東南ロータリークラブの古田 聖人会長からは、「今日は、一生懸命作業に打ち込む皆さんの姿を見ることができました。今回の訪問をきっかけに支援の輪が広がることを願います。」と授産所利用者の皆さんへの激励の言葉が贈られました。これに対し、授産所を運営する笠松町社会福祉協議会の森 英信会長からは「スチームオーブンレンジがあれば、授産所利用者の調理や食事の幅が広がります。しっかりと活用させていただきます。」と感謝の意が伝えられました。

また、贈呈式のあとは、岐阜東南ロータリークラブと授産所利用者の皆さんによる食事会も行われ、お互いに交流を深めました。



目録を手渡す古田会長(左)